

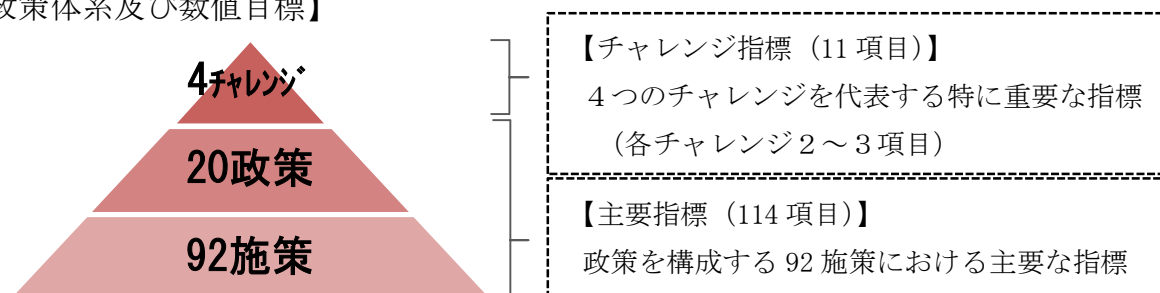
令和 4 年 1 1 月 2 9 日
茨 城 県

前総合計画（第 3 部）政策・施策に係る総括評価について

1 政策体系と数値目標について

前総合計画（計画期間：2018～2021 年度）については、政策・施策の目指すべき水準をわかりやすく示すため、合計 125 項目の数値目標（チャレンジ指標 11 項目、主要指標 114 項目）を設定し、政策・施策の成果等を毎年度分析・評価する基準とするとともに、施策の改善にも活用します。

【政策体系及び数値目標】



2 施策の評価方法及び政策の進捗状況の区分方法について

（1）92 施策の評価




「主要指標」の達成率から、「A」「B」「C」「D」の 4 段階で評価します。

A 達成率 100%以上	C 達成率 50%～75%未満
B 達成率 75%～100%未満	D 達成率 50%未満

なお、一つの施策に主要指標が複数ある場合には、達成率の平均値により評価します。また、複数年度ごとに更新されるなど、更新がない場合は、評価保留とするか、定性評価で評価します。

（2）20 政策の進捗状況

政策を構成する施策評価結果を数値化（A:4 点、B:3 点、C:2 点、D:1 点）し、その平均値により進捗状況を「順調である」、「成果をあげつつある」、「取組の強化が求められる」の 3 段階に分類します。


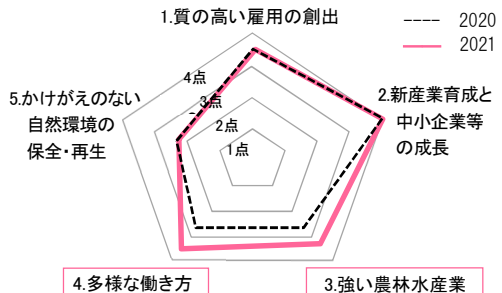


結果	施策評価の平均値
 順調である	4.0 点 ～ 3.0 点
 成果をあげつつある	2.99 点 ～ 2.0 点
 取組の強化が求められる	1.99 点 ～ 1.0 点

3 2022年度（2021年度分）政策・施策に係る進捗状況について

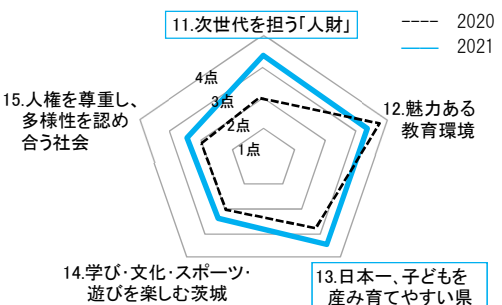
(1) 政策の進捗状況の結果について（総括）

- ・2021年度における20政策の進捗状況について、「順調である」が11政策、「成果をあげつつある」が8政策、「取組の強化が求められる」が1政策となります。

区分	2020	2021	増減	備考
 「順調である」	7	11	+4	☆進捗状況を1段階上げた政策：7政策 （「成果をあげつつある」→「順調である」） ・3 強い農林水産業 ・4 多様な働き方 ・10 災害に強い県土 ・11 次世代を担う「人財」 ・13 日本一、子どもを産み育てやすい県 （「取組の強化が求められる」→「成果をあげつつある」） ・8 障害のある人も暮らしやすい社会 ・16 魅力度No.1プロジェクト ★進捗状況を1段階下げた政策：1政策 （「順調である」→「成果をあげつつある」） ・19 茨城国体・障害者スポーツ大会、 東京オリンピック・パラリンピックの成功
 「成果をあげつつある」	10	8	▲2	
 「取組の強化が求められる」	3	1	▲2	

新しい豊かさ				
区分	2020	2021	増減	
 「順調である」	2	4	+2	
 「成果をあげつつある」	3	1	▲2	
 「取組の強化が求められる」	—	—	—	

新しい安心安全				
区分	2020	2021	増減	
 「順調である」	1	2	+1	
 「成果をあげつつある」	3	3	—	
 「取組の強化が求められる」	1	—	▲1	

新しい人財育成				
区分	2020	2021	増減	
 「順調である」	1	3	+2	
 「成果をあげつつある」	4	2	▲2	
 「取組の強化が求められる」	—	—	—	

新しい夢・希望				
区分	2020	2021	増減	
 「順調である」	3	2	▲1	
 「成果をあげつつある」	—	2	+2	
 「取組の強化が求められる」	2	1	▲1	

※四角囲みをした政策は、2020年度より進捗状況が改善。また、下線を付した政策は、2020年度より進捗状況が悪化。

政策の進捗状況、施策及び主要指標の評価結果(2021年度)

I. 新しい豊かさ	政策の進捗状況		施策評価	No	指標名	単位	現状値		実績(2021)				(参考)		目標値	
	区分	指標平均値					2017	全国順位等	全国順位等	期待値	達成率	2021 指標評価	2020 指標評価	2021		
1 質の高い雇用の創出																
(1) 成長分野等の企業の誘致	順調である	3.7	A	1	本社機能移転に伴う県外からの移転者・新規採用者数(期間累計)	人	256 (2016)	—	1,552	—	1,024 (2018~21累計)	168%	A	A	1,024 (2018~21累計)	
				2	本社機能等の移転等を伴う新規立地件数(期間累計)	件	28 (2016)	—	176	—	112 (2018~21累計)	176%	A	A	112 (2018~21累計)	
				3	県の支援により進出した外資系企業数(経年累計)	件	4	—	19	—	22	83%	B	B	22	
(2) 工業団地への企業立地の加速化	順調である	3.7	A	4	工場の立地件数(電気業を除く)(期間累計)	件	50	4	247	2	200 (2018~21累計)	131%	A	A	200 (2018~21累計)	
(3) 産業を支える人材の育成・確保			B	5	基本情報技術者試験の茨城県合格者数(期間累計)	人	530 (2018)	10	2,004	10	2,009	99%	B	B	2,009	
2 新産業育成と中小企業等の成長																
(1) 先端技術を取り入れた新産業の育成	順調である	4.0	A	6	1億円以上の資金調達をしたベンチャー企業数(経年累計)	社	4 (2018)	—	17	—	10	217%	A	A	10	
(2) 共存共栄できる新しい産業集積づくり				7	先端技術を活用した新製品・新サービスの創出件数(経年累計)	件	15 (2018)	—	46	—	45	103%	A	A	45	
(3) 活力ある中小企業・小規模事業者の育成				8	産学官連携による新製品等開発件数(経年累計)	件	66	—	110	—	106	110%	A	A	106	
				9	意欲ある企業が県施策を活用して売上高伸び率を県内上位中小企業以上に伸ばした割合	%	—	—	70	—	50	140%	A	A	50	
	A	10	県の支援による県内中小企業のM&Aマッチング件数(経年累計)	件	—	—	18	—	18	100%	A	A	18			
3 強い農林水産業																
(1) 農業の成長産業化	順調である	3.3	—	11	販売金額1億円以上の農業経営体数	経営体	255 (2015)	7	— 次回公表は2025実績		—	—	—	C	350 (2020)	
(2) 未来の農業のエンジンとなる担い手づくり				12	法人化している農業経営体率	%	5.1 (2015)	40	— 次回公表は2025実績		—	—	—	—	D	11.7 (2020)
(3) 林業の成長産業化				A	14	民有林における売上高4億円以上の経営体数	経営体	—	—	2	—	2	100%	A	A	2
(4) 水産業の成長産業化				D	15-1	沿岸漁業における法人の割合	%	3.2 (2018)	—	4.1	—	8.9	16%	D	D	8.9
					15-2	漁労収入1億円以上の沿岸漁業経営体数	経営体	5 (2018)	—	6	—	12	14%	D	D	12
(5) 県食材の国内外への販路拡大				A	16	県の支援により成約した農産物の市場外取引商談件数	件	137 (2018)	—	904	—	860	106%	A	A	860
(6) 美しく元気な農山漁村の創生	A	17	野生鳥獣による農作物被害金額	百万円	580 (2016)	43	450 (2020)	40	450以下	100%	A	A	450以下			
4 多様な働き方																
(1) 自分らしく働くワーク・ライフ・バランスの実現	順調である	3.5	B	18	県内中小企業における年次有給休暇取得率	%	53.97 (2016)	9	60.58 (2020)	7	60.50 (2020)	101%	A	A	61.00以上	
(2) 女性が輝く環境づくり				19	県内企業の1ヶ月あたり所定外労働時間数	時間	12.8	45	10.5	41	9.3以下	66%	C	C	9.3以下	
(3) U I J ターンで大好きな茨城へ				A	20	政策方針決定過程に参画する女性の割合(法令設置審議会等委員女性割合)	%	30.7	37 (2016)	38.9	未公表	35.4	174%	A	A	35.4
(4) 移住・二地域居住の推進~茨城へ新しい人の流れを~				B	21	大学卒業者の県内企業等への就職率	%	30.7 (2016)	—	32.7 (2020)	—	32.9	91%	B	D	32.9
(5) 安心して就労できる環境づくり				A	22	地域や地域の人々と多様に関わる「関係人口」数(経年累計)	人	10,770	—	27,109	—	26,770	102%	A	B	26,770
	—	23	雇用者の正規雇用率	%	61.5	28	— 次回公表は2022実績		—	—	—	—	—	62.7		
5 かけがえのない自然環境の保全・再生																
(1) 湖沼の水質浄化~泳げる霞ヶ浦を目指して~	成果をあげつつある	2.4	D	24	霞ヶ浦におけるCOD濃度(平均値)	mg/L	7.3 (2018)	西浦9位/14 常陸利根川11位/14 北浦12位/14 指定湖沼11 湖沼(14水域)	7.7	—	7.0 (2020)	0%	D	D	7.0 (2020)	
(2) 身近な自然環境の保全				25	霞ヶ浦流域内における浄化槽補助件数	件/年	1,219	—	1,446	—	1,531	73%	C	D	1,531	
(3) 県民総ぐるみによる地球温暖化対策				A	26	大気汚染に係る環境基準(PM2.5)達成率	%	94.4	—	100	—	100	100%	A	A	100
(4) 不法投棄対策と循環型社会づくり				A	27	本県の二酸化炭素排出量の削減	%	家庭: 4,638 業務: 4,893 運輸: 6,622 産業: 30,723 (2013、千t-CO2)	—	家庭: ▲18.8 業務: ▲17.2 運輸: ▲5.8 産業: ▲7.9 (2019)	—	家庭: ▲13.8 業務: ▲14.1 運輸: ▲9.9 産業: ▲3.2 (2019)	142%	A	A	家庭: ▲18.4 業務: ▲18.8 運輸: ▲13.2 産業: ▲4.24
(5) 持続可能なエネルギー社会の実現				D	28	不法投棄発生件数	件	120	—	171	—	80以下	0%	D	D	80以下
	C	29	電気自動車等充電インフラの整備数(経年累計)	施設	1,041	—	1,049	—	1,054	62%	C	C	1,054			











※ 2021年度の実績値は、概ね2022年10月末までに公表された数値を掲示

チャレンジ I 「政策」の進捗状況	施策評価結果(チャレンジ I)						主要指標評価結果(チャレンジ I)					
	A	B	C	D	評価保留	計	A	B	C	D	評価保留	計
・「順調である」 : 4												
・「成果をあげつつある」 : 1	12	3	1	3	3	22	16	3	3	4	3	29
・「取組の強化が求められる」 : 0	(54.5%)	(13.6%)	(4.5%)	(13.6%)	(13.6%)	(100.0%)	(55.2%)	(10.3%)	(10.3%)	(13.8%)	(10.3%)	(100.0%)

II. 新しい安心安全	政策の進捗状況		施策評価	No	指標名	単位	現状値		実績(2021)				(参考)		目標値	
	区分	指標平均値					2017	全国順位等	全国順位等	期待値	達成率	2021 指標評価	2020 指標評価	2021		
6 県民の命を守る地域医療・福祉																
(1) 医師不足緊急対策	 成果をあげつつある	 2.5 2020平均値 2.3	A	30	最優先で医師確保に取り組む医療機関・診療科の必要医師数	人	—	—	4.2	—	3	140%	A	—	7.5 (2022)	
(2) 医療・福祉人材確保対策			A	31	特定看護師数	人	35	11 (10万人あたり)	185	—	140	143%	A	A	140	
				A	32	介護職員数	人	34,959 (2016)	—	43,122 (2020)	—	44,483	77%	B	A	44,483
(3) 医療提供体制・地域保健の充実			D	33	救急要請から医療機関への搬送までに要した時間	分	42.7 (2016)	40	44.1 (2020)	41	全国平均以下	—	0%	D	D	全国平均以下
(4) がん対策			—	34	がん検診受診率	%	44.9 (2016)	22	—	—	—	—	—	—	—	50.0
(5) 精神保健対策・自殺対策			D	35	自殺者数(人口10万人あたり)	人	17.1 (2016)	26	17.4 (2020)	13	16.2以下 (2020)	0%	D	C	16.2以下 (2020)	
7 健康長寿日本一																
(1) 在宅医療・介護の支援	 順調である	 3.3 2020平均値 3.0	A	36	訪問診療を実施している診療所・病院数	箇所	360 (2015)	36 (10万人あたり)	426	—	414 (2020)	122%	A	A	414 (2020)	
(2) 地域包括ケアシステムの構築			B	37	地域ケア会議における困難事例の支援開始割合	%	74.6 (2018)	—	95.5	—	100.0	82%	B	A	100	
(3) 認知症対策の強化			A	38	認知症サポーター養成人数(経年累計)	人	201,567	37 (総人口に占める割合)	300,513	34 (総人口に占める割合)	288,000	114%	A	B	338,000 (2023)	
(4) 高齢者の能力活用と就労支援			—	39	高齢者有業率	%	38.2	30	—	—	—	—	—	—	—	38.5
(5) 人生百年時代を見据えた健康づくり			C	40	シルバーリハビリ体操指導士養成数(経年累計)	人	8,312	—	9,686	—	9,932	51%	C	D	11,000 (2023)	
				41	特定保健指導対象者数の割合(40~74歳)(男女)	%	男性: 25.3 女性: 9.7 (2015)	男性: 41 女性: 43	—	—	—	—	—	D	男性: 22.8 女性: 8.7	
8 障害のある人も暮らしやすい社会																
(1) 特別支援教育等の充実	 成果をあげつつある	 2.3 2020平均値 1.5	A	42	障害児に対する個別的教育支援計画等の作成率(幼児教育・保育施設)	%	63.2 (2020)	—	69.4	—	68.5	117%	A	—	68.5	
(2) 障害者の自立と社会参加の促進			D	43	精神病床に在院期間1年以上の長期在院する精神障害者数	人	3,905	—	3,861	—	3,005	0%	D	D	3,005	
(3) 障害者の就労機会の拡大			C	44	就労継続支援B型事業所における月額平均賃金	円	13,198	45 (2016)	15,201	—	15,480	88%	B	C	15,480	
				45	民間企業における障害者雇用率	%	1.97	32	2.17	39	2.30	61%	C	B	2.30	
9 安心して暮らせる社会																
(1) 地域公共交通の維持確保	 成果をあげつつある	 2.3 2020平均値 2.3	D	46	コミュニティ交通の利用者数	万人	308 (2016)	—	263	—	323	0%	D	D	323	
(2) 治安対策の強化			D	47	住んでいる地域の治安が良いと感じている県民の割合	%	42.7	—	43.6	—	50.0以上	12%	D	D	50.0以上	
(3) 交通安全対策の推進			A	48	交通事故死者数	人	143	38	80	37	120以下	274%	A	A	120以下	
(4) 消費生活と食の安全確保			A	49	食に対する不安を感じない県民の割合	%	39.9	—	58.6	—	50.0以上	185%	A	A	50.0以上	
				50	消費生活相談窓口対応日数が週4日以上(市町村数)	市町村	39 (2019)	—	44	—	44	100%	A	D	44	
(5) 地域の力を高めるコミュニティづくり			D	51	NPO法人認証件数(経年累計)	件	838	46 (10万人あたり)	876	44 (10万人あたり)	983	26%	D	D	983	
(6) 犬猫殺処分ゼロの実現			A	52	犬猫の殺処分数	頭	713	20	0	—	0	100%	A	A	0	
(7) 安心で安全な上下水道の整備		53	水道普及率	%	94.4 (2016)	36	95.1 (2020)	35	100	13%	D	D	100.0			
		54	汚水処理人口普及率	%	84.0	31	86.8	31	87.4	82%	B	B	87.4			
10 災害に強い県土																
(1) 防災意識の高揚と地域防災活動の支援・充実	 順調である	 3.5 2020平均値 2.7	D	55	自主防災組織の活動カバー率	%	80.8	34	83.9	34	90	34%	D	D	90.0	
				56	消防団員数の充足率	%	91.6	31	84.9	未公表	94	0%	D	D	94.0	
(2) 災害に備えた体制づくり			A	57	市町村のBCP策定率	%	56.8	27	100	1	100	100%	A	A	100.0	
(3) 危機に強いライフラインの整備			A	58	公共施設等の個別施設計画(長寿命化計画)策定割合	%	53.8	—	100	—	100	100%	A	A	100.0	
			A	59	河川改修率	%	57.6	—	58.2	—	58.2	100%	A	A	58.2	
(4) 治山治水対策の強化			A	60	土砂災害防止施設の整備率	%	24.1	—	24.7	—	24.5	150%	A	A	24.5	
(5) 原子力安全対策の徹底	A	61	原子力施設における事故・故障等の発生件数ゼロ(法令報告に該当するもの)	件	1 (2018)	—	0	—	0	100%	A	D	0			
(6) 危機管理体制の充実	A	62	市町村の国民保護に係る避難実施要領の複数パターン作成率	%	61.4	—	100	—	100	100%	A	C	100.0			





※ 2021年度の実績値は、概ね2022年10月末までに公表された数値を掲示

チャレンジII「政策」の進捗状況	施策評価結果(チャレンジII)						主要指標評価結果(チャレンジII)					
	A	B	C	D	評価保留	計	A	B	C	D	評価保留	計
・「順調である」 : 2												
・「成果をあげつつある」 : 3	13	1	2	8	2	26	15	4	2	9	3	33
・「取組の強化が求められる」 : 0	(50.0%)	(3.8%)	(7.7%)	(30.8%)	(7.7%)	(100.0%)	(45.5%)	(12.1%)	(6.1%)	(27.3%)	(9.1%)	(100.0%)

Ⅲ. 新しい人財育成	政策の進捗状況		施策評価	No	指標名	単位	現状値		実績(2021)					(参考)	目標値	
	区分	指標平均値					2017	全国順位等	全国順位等	期待値	達成率	2021 指標評価	2020 指標評価	2021		
11 次世代を担う「人財」																
「知・徳・体」パ ランスのとれた教 育の推進 (2) 新しい時代に求め られる能力の育成 キャリア教育によ る将来の目標づく り (4) 青少年の健全育成 と若者の自立を支 える社会づくり (5) 就学前教育・家庭 教育の推進 (6) 放課後の子どもの 活動支援 (7) 地域力を高める人 財育成	 順調である	 3.3 2020平均値 2.0	A	63	国語の授業の理解度（中学生）	%	78.4	9	83.2	9	81.4	160%	A	—	81.4	
			A	64	全国高等学校総合体育大会等での優勝数	種目	4.0 (2019)	31	8	24	6	200%	A	D	6	
			C	65	全国レベルのプログラミング・コンテスト（中高生向け）の入賞組数	組	2	—	4	—	5	66%	C	D	5	
			A	66	地域や社会をよりよくするための課題解決型学習に取り組んだ生徒の割合	%	5.5 (2018)	—	88	—	50	185%	A	A	50	
				67	県立高等学校におけるキャリアノートの活用率	%	—	—	100	—	100	100%	A	A	100	
			D	68	小中義務教育学校における不登校児童生徒が、フリースクール等で相談・指導等を受けている割合	%	69 (2018)	—	61.1	—	78.3	0%	D	D	78.3	
			A	69	訪問型家庭教育支援に取り組む市町村数	市町村	17 (2019)	—	21	—	21	100%	A	D	21	
			A	70	放課後児童クラブの実施箇所数	箇所	961 (2018)	—	1,105	—	1,099	104%	A	A	1,099	
A	71	生涯学習ボランティア派遣人数	人	3,777	—	6,213	—	5,280	162%	A	C	5,280				
	72	IBARAKIドリーム・パス事業への応募企画数	件	104 (2020)	—	190	—	130	331%	A	—	130				
12 魅力ある教育環境																
(1) ICT教育先進県 の実現 (2) 正しいメディアと のつきあい方 (3) 時代の変化に対応 した学校づくり (4) 新たなニーズに対 応した大学等の誘 致や官学連携の推 進	 順調である	 3.3 2020平均値 3.7	B	73-1	ICTを活用できる生徒の割合（県立高校）	%	38.6 (2018)	—	78.0	—	100.0	64%	C	A	100.0	
			B	73-2	情報処理技術者試験の高校生合格者数（期間累計）	人	16 (2018)	—	41	—	43	93%	B	C	43	
			A	74	通信機器等の利用に関する家族との話し合い実施率	%	48.9 (2016)	—	90.7	—	90.0	102%	A	C	90.0	
				75	学校におけるメディアに関する講習会の実施率	%	97.8	—	100	—	100	100%	A	A	100.0	
C	76	主体的・対話的で深い学びの視点による授業改善に取り組んだ割合（公立小学校）	%	77.0	17	80	13	82.2	58%	C	—	82.2				
A	77	特色ある教育カリキュラムの導入について検討する大学数	校	—	—	3	—	3	100%	A	A	3				
13 日本一、子どもを産み育てやすい県																
(1) 結婚・出産の希望 がかなう社会づく り (2) 安心して子どもを 育てられる社会づ くり (3) 待機児童ゼロへの 挑戦 (4) 児童虐待対策の推 進 (5) 誰もが教育を受け ることができる社 会づくり (6) 困難を抱える子ど もへの支援	 順調である	 3.3 2020平均値 2.7	A	78	妊娠・出産について満足している者の割合	%	82.1	28	86.7	—	84	242%	A	A	84	
			A	79	いばらき出会いサポートセンター利用者等成婚者数（経年累計）	組	1,930	—	2,487	—	2,450	107%	A	A	2,450	
			A	80	放課後児童クラブの実施箇所数（再掲）	箇所	961 (2018)	—	1,105	—	1,099	104%	A	A	1,099	
			B	81	保育所等の待機児童数	人	386	36	8	18	0	98%	B	B	0	
			A	82	ペアレント・トレーニング開催市町村数	市町村	12	—	44	—	44	100%	A	C	44	
			D	83	小中義務教育学校における不登校児童生徒が、フリースクール等で相談・指導等を受けている割合（再掲）	%	69 (2018)	—	61.1	—	78.3	0%	D	D	78.3	
A	84	母子・父子自立支援プログラム策定件数	件	31 (2019)	—	149	—	96	182%	A	C	96				
14 学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城																
(1) 生涯にわたる学び のすゝめ (2) 心豊かにする文 化・芸術 (3) 「する・見る・支 える」スポーツの 支援 (4) 遊びある楽しい生 活スタイル	 成果を あげつ つある	 2.3 2020平均値 2.0	D	85	県内公立図書館の入館者数	千人	8,477 (2018)	—	5,394	—	8,612	0%	D	D	8,612	
			D	86	県が提供する文化の鑑賞等の機会への参加者数	千人	1,051 (2018)	—	570	—	1,067	0%	D	D	1,067	
			B	87	成人の週1回以上のスポーツ実施率	%	34.7 (2016)	—	56.0	17	60.7	82%	B	C	60.7	
			A	88	都市計画区域人口1人あたり都市公園面積	m ² /人	9.56 (2016)	36	10.01 (2020)	36	10.00	102%	A	A	10.00	
15 人権を尊重し、多様性を認め合う社会																
(1) 誰もが能力を發揮 できる社会 (2) ダイバーシティ社 会へ向けて (3) 一人ひとりが尊重 される社会づく り (4) いじめを生まない 社会づくり	 成果を あげつ つある	 2.5 2020平均値 2.0	A	89	多文化共生サポーターバンクへの新規登録者数（経年累計）	人	520	—	983	—	800	165%	A	A	800	
			D	90	人権は大切であると感じている県民の割合	%	90.6 (2016)	—	77.7	—	95.0	0%	D	D	95.0	
			D			A	91	いじめを受けた児童生徒が、誰にも相談していない状況にある件数	件	958 (2018)	—	531	—	689	159%	A

※ 2021年度の実績値は、概ね2022年10月末までに公表された数値を掲示

チャレンジⅢ「政策」の進捗状況	施策評価結果(チャレンジⅢ)						主要指標評価結果(チャレンジⅢ)					
	A	B	C	D	評価保留	計	A	B	C	D	評価保留	計
・「順調である」 : 3												
・「成果をあげつつある」 : 2	14	3	2	6	0	25	19	3	3	5	0	30
・「取組の強化が求められる」 : 0	(56.0%)	(12.0%)	(8.0%)	(24.0%)	(0.0%)	(100.0%)	(63.3%)	(10.0%)	(10.0%)	(16.7%)	(0.0%)	(100.0%)

IV. 新しい夢・希望	政策の進捗状況		施策評価	No	指標名	単位	現状値		実績(2021)				(参考)	目標値		
	区分	指標平均値					2017	全国順位等	全国順位等	期待値	達成率	2021 指標評価	2020 指標評価	2021		
16 魅力度No.1プロジェクト																
(1) 魅力発信国内戦略		成果をあげつつある 2.3 2020平均値 1.8	A	92	本県情報のメディアへの掲載による広告換算額	億円	71	—	158	—	140	126%	A	C	140	
(2) 魅力発信グローバル戦略			D	93	外国人延べ宿泊者数	人泊	230,690	35	24,880	23	389,900	0%	D	D	389,900	
(3) 積極的なトップセールス			B	94	県産品の県内認知度	%	—	—	42.2	—	50	84%	B	B	50	
(4) 県民総「茨城大好き！」計画			D	95	茨城県に「愛着を持つ」県民の割合	%	83.3	—	72.3	—	90.0	0%	D	D	90.0	
17 世界に飛躍する茨城へ																
(1) 世界に広がるメイドインIBARAKI		順調である 3.0 2020平均値 3.0	A	96	県の支援により成約した輸出商談件数	件/年	38	—	353	—	100	508%	A	A	100	
(2) 活発なグローバル交流			D	97	県内における国際会議の開催件数	件/年	50	12	4 (2020)	9	120	0%	D	D	120	
(3) 茨城シリコンバレー構想			A	98	1億円以上の資金調達をしたベンチャー企業数(経年累計)(再掲)	社	4 (2018)	—	17	—	10	217%	A	A	10	
18 ビジット茨城 ～新観光創生～																
(1) 旺盛なインバウンドの取込み		取組の強化が求められる 1.0 2020平均値 1.0	D	99	海外からの観光ツアー催行数	ツアー	3,442 (2018)	—	0	—	5,000	0%	D	D	5,000	
(2) 新たな観光資源の発掘			D	100	茨城空港の旅客数	千人	681	39位/ 85空港	280	—	944	0%	D	D	944	
(3) 新茨城リゾート構想			D	101	観光地点等入込客数(延べ人数)	万人	6,181 (2016)	17位/ 44都道府県	3,972	3位/ 16都道府県	8,450	0%	D	D	8,450	
(4) 新茨城リゾート構想			D	102	宿泊観光入込客数(実人数)	万人	534 (2016)	24位/ 44都道府県	367	7位/ 16都道府県	876	0%	D	D	876	
19 茨城国体・障害者スポーツ大会、東京オリンピック・パラリンピックの成功																
(1) 競技力の向上と障害者スポーツの振興		成果をあげつつある 2.5 2020平均値 4.0	—	103	第74回国民体育大会における男女総合成績(天皇杯順位)	位	23	23	—	—	—	—	—	—	1 (2019)	
(2) 県民総参加の機運醸成			—	104	運営ボランティア従事者数(国体)	人	—	—	—	—	—	—	—	—	—	延べ 5,200 (2019)
(3) 成功に導く環境整備			D	105	都市ボランティア延べ従事(予定)者数(オリパラ)	人	—	—	288	—	2,200	13%	D	—	2,200	
(4) 大規模スポーツイベントを契機とした魅力発信			—	106	第74回国民体育大会文化プログラム登録事業数	事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100 (2019)
(5) スポーツを活用した地域振興			A	107	ホストタウン交流事業に取り組む市町村数	市町村	9	6	18	4	15	150%	A	A	15	
20 活力を生むインフラと住み続けたいまち																
(1) 未来の交通ネットワークの整備		順調である 3.3 2020平均値 3.3	A	108	県管理道路の改良率	%	75.7 (2016)	20	77.3	22	76.3	267%	A	A	76.3	
(2) 空と海のゲートウェイ機能の強化			D	109	重要港湾(茨城港・鹿島港)の取扱貨物量	千トン	94,350	—	93,930	—	103,200	0%	D	D	103,200	
(3) 人にやさしいまちづくり			A	111	立地適正化計画(コンパクトシティ実現に向けた計画)策定市町村数(経年累計)	市町村	2	—	29	—	24	123%	A	A	24	
(4) 魅力あるまちづくり			A	112	バリアフリー重点整備地区における県及び市町村管理歩道のバリアフリー化率	%	63.1	—	72.7	—	74.3	86%	B	B	74.3	
(5) 魅力あるまちづくり	A	113	都市計画区域人口1人あたり都市公園面積(再掲)	m ² /人	9.56 (2016)	36	10.01 (2020)	36	10.00	102%	A	A	10.00			

※ 2021年度の実績値は、概ね2022年10月末までに公表された数値を掲示

チャレンジIV「政策」の進捗状況	施策評価結果(チャレンジIV)						主要指標評価結果(チャレンジIV)						
	A	B	C	D	評価保留	計	A	B	C	D	評価保留	計	
・「順調である」	2												
・「成果をあげつつある」	2	7	1	0	8	3	19	7	2	0	10	3	22
・「取組の強化が求められる」	1	(36.8%)	(5.3%)	(0.0%)	(42.1%)	(15.8%)	(100.0%)	(31.8%)	(9.1%)	(0.0%)	(45.5%)	(13.6%)	(100.0%)

「政策」の進捗状況(合計)	施策評価結果(合計)						主要指標評価結果(合計)						
	A	B	C	D	評価保留	計	A	B	C	D	評価保留	計	
・「順調である」	11												
・「成果をあげつつある」	8	46	8	5	25	8	92	57	12	8	28	9	114
・「取組の強化が求められる」	1	(50.0%)	(8.7%)	(5.4%)	(27.2%)	(8.7%)	(100.0%)	(50.0%)	(10.5%)	(7.0%)	(24.6%)	(7.9%)	(100.0%)

(2) チャレンジ指標の進捗状況について（総括）

・2021年度におけるチャレンジ指標の進捗状況については、「期待値より進捗」が5指標、「現状値より進捗」が3指標、「横ばい」が2指標、「現状値より悪化」が3指標となります。

区 分	該当指標数・指標名	
期待値より進捗 	5 (4)	②雇用創出数(期間累計)、 ④最優先で医師確保に取り組む医療機関・診療科の必要医師数（※2020年度は評価保留）、 ⑤健康寿命（男性）（※2020年度は評価保留）、 ⑥子どものチャレンジ意欲、（※2020年度は評価保留） ⑩農林水産物及び工業製品等の輸出額
現状値より進捗 	3 (0)	⑤健康寿命（女性）（※2020年度は評価保留）、 ⑦生徒の英語力(中学)（※2020年度は評価保留）、 ⑦生徒の英語力(高校)（※2020年度は評価保留）
横ばい 	2 (1)	①1人あたり県民所得（全国順位）、 ⑧県民が希望する子どもの数と実際の子どもの数の差
現状値より悪化 	3 (2)	③生産農業所得(販売農家1戸あたり)、 ⑨企業経営者が考える成長期待度、⑩観光消費額
評価保留 	0 (6)	
計	13	

※指標数の括弧内は2020年度。

※下線を付した指標は、2020年度より進捗状況が悪化。

※チャレンジ指標は11項目であるが、「⑤健康寿命」が男女別の数値となっており、また、「⑦生徒の英語力」が中学・高校別の数値となっていることから、13項目により整理。

※「評価保留」：指標が複数年度ごとに更新されるなど、数値の更新がない場合。

チャレンジ指標の進捗状況について

()は全国順位等を表す

4つのチャレンジ	No	指標名	単位	現状値 2017		2020	進捗 状況	2021	進捗 状況	備考	目標値 2021
I 新しい豊かさ	①	1人あたり県民所得 (全国順位)	位	10 [2015]	期待値	9位以内[2018]	↗	9位以内[2019]	➡	・1人あたり県民所得は国民所得を上回る増加率 ※1人あたり県民所得[2015]3,105千円→[2019]3,247千円(+4.6%) " 国民所得[2015]3,090千円→[2019]3,176千円(+2.8%)	8位以内
				※平成27年度 県民経済計算公表時	実績	6位[2018]		10位[2019]			
	②	雇用創出数 (期間累計)	人	2,138	期待値	4,400[2019]	↗	6,600[2020]	↗	・企業誘致の成果及び看護職員の就業者数の増 -「雇用創出数」の構成内訳- ・企業誘致による雇用人増加数 ・起業による雇用増加数 ・新規就農者数 ・本社機能の移転等による雇用増加数 ・就業看護職員数	8,800 (2018~21累計)
実績	4,499[2019]	7,229[2020]									
③	生産農業所得 (販売農家1戸あたり)	万円	373 [2016] (9)	期待値	400[2019]	➡	442[2020]	➡	・農業産出額・生産農業所得が2019年比で増加したものの、現状値の水準までは回復せず ※生産農業所得(総額)：1,470億円[2019]→1,606億円[2020](+136億円)	500	
実績	298[2019] (15)	366[2020] (10)									
II 新しい安心安全	④	最優先で医師確保に取り組む 医療機関・診療科の必要医師数	人	-	期待値	-	-	3	↗	・県外大学への寄附講座設置等による医師確保に取り組み、医師4.2名を確保	7.5 (2022)
				実績	2.2	4.2					
	⑤	健康寿命	年	男:72.50 [2016] (9)	期待値	-	↗	72.58[2019]	↗	・前回公表値である2016年比で男性につき0.21年、女性につき0.28年、健康寿命が延伸 ※健康寿命：日常生活に制限のない期間の平均	72.92
				実績	-	72.71[2019] (19)					
女:75.52 [2016] (8)	期待値	-	75.88[2019]	➡	76.22						
実績	-	75.80[2019] (17)									
III 新しい人財育成	⑥	子どものチャレンジ意欲	%	78.8 (11)	期待値	80.2	-	81.4	↗	・教員の授業力向上や整備端末の活用により、課題解決に向けて取り組む生徒が増加	81.4
				実績	(未実施)	82.3 (20)					
	⑦	生徒の英語力 英検取得(中学:3級, 高校:準2級)又は 相当程度を有すると 思われる生徒の割合	%	中学:43.3 (9)	期待値	54	-	60.4	➡	・教員の授業改善や生徒の学習改善が着実に進み、2017年度比で10.6ポイント上昇 ※英検3級取得生徒 [2017]25.9%→[2021]32.6%(+6.7ポイント) " 相当程度を有する生徒 [2017]17.4%→[2021]21.3%(+3.9ポイント)	60.4
				実績	(未実施)	53.9 (6)					
				高校:36.2 (35)	期待値	50	-	58	➡	・コミュニケーション能力育成を重視した授業改善が進み、生徒の実践的な英語力が向上	58.0
				実績	(未実施)	38.3					
⑧	県民が希望する子どもの数と 実際の子ども数の差	人	0.45	期待値	現状より改善	➡	現状より改善	➡	・妊娠期や子育て期にわたる切れ目のない支援や幼児教育・保育サービスの充実により、 実際の子どもの数(予定含む)が上昇し、2017年比で0.07人分改善 ※県民が希望する子どもの数 [2017]2.49人→[2021]2.47人(Δ0.02人) 実際の子どもの数(予定含む)[2017]2.04人→[2021]2.09人(+0.05人)	現状より改善	
			実績	0.42	0.38						
IV 新しい夢・希望	⑨	企業経営者が考える成長期待度	%	-	期待値	最高値の更新	↗	最高値の更新	➡	・本県が投資に適している県だと考えている企業経営者が、前年度より6.8ポイント減の67.4% ・長引くコロナ禍により、全体的に今後の投資予定が低下	最高値の更新
				実績	74.2	67.4					
	⑩	観光消費額	億円	2,628 (19/40 都道府県)	期待値	3,700	➡	3,950	➡	・前年よりも増加したものの、他県との往来自粛要請等の影響によりコロナ前の水準までは回復せず	3,950
実績	2,101 (3位/14都道府県)	2,292									
⑪	農林水産物及び 工業製品等の輸出額	億円	78	期待値	98	↗	104	↗	・農産物輸出額は、タイ向けかんしょの輸出拡大等により、前年度比132% ・加工食品は経済活動再開が進む地域への営業先シフト等により取引増加・拡大し、 前年度比134%、工業製品は前年度比298% ※農産物輸出額 [2020]7.4億円→[2021]9.8億円(+2.4億円) 水産物輸出額 [2020]52.9億円→[2021]68.9億円(+16.0億円) 加工食品輸出額 [2020]12.2億円→[2021]16.3億円(+4.1億円) 工業製品等輸出額 [2020]30.3億円→[2021]90.1億円(+59.8億円)	104	
実績	102.7	185.1									

(凡例) 進捗状況について : 期待値より進捗 : 現状値より進捗 : 横ばい : 現状値より悪化




4 前総合計画の総括評価まとめ

・4つのチャレンジの20政策の総括評価は以下のとおり



【進捗評価】：「順調である」、「成果をあげつつある」、「取組の強化が求められる」の3区分で整理した進捗評価を記載

【総括評価】：4年間の取組実績に対する総括評価を記載（☆は成果、★は課題）するとともに、第2次総合計画における位置づけを記載

I「新しい豊かさ」へのチャレンジ（1/2）

政策名	進捗評価	総括評価
1 質の高い雇用の創出	 順調である	<p>☆全国トップクラスの補助制度の創設などにより、成長分野の本社機能等の誘致を強力に進めた結果、多くの最先端分野の本社・研究開発拠点の立地を実現</p> <p>【主要指標】 ・本社機能移転に伴う県外からの移転者・新規採用者数（期間累計） 1,552人（目標値 1,024）※達成率 168% ・本社機能等の移転等を伴う新規立地件数（期間累計） 176件（目標値 112）※達成率 176%</p> <p>☆競争力ある価格への見直しや新たな優遇策の創設等の手段を講じて公共工業団地の分譲に取り組み、企業立地件数、立地面積ともに全国トップクラスを維持（2018～・工場立地動向調査）</p> <p>【主要指標】 ・工場の立地件数（電気業を除く）（期間累計） 247件（目標値 200）※達成率 131%</p> <p>☆県立産業技術短期大学等において基本情報技術者試験対策講座を実施し多数の合格者を輩出。2020年度からはデータサイエンティストの育成講座を開講</p> <p>【主要指標】 ・基本情報技術者試験の茨城県合格者数（期間累計） 2,004人（目標値 2,009）※達成率 99%</p> <p>【新計画における位置づけ】 政策1 質の高い雇用の創出 魅力ある産業の本社機能等の誘致、更なる産業用地の確保、不足するIT人材の育成などに取り組むため、引き続き政策「質の高い雇用の創出」として推進</p>
2 新産業育成・中小企業等の成長支援	 順調である	<p>☆産業技術イノベーションセンターによる企業との共同研究等により、社会課題の解決につながるアプリの開発など、デジタル技術を活用した新製品の開発やビジネスの創出を支援</p> <p>【主要指標】 ・先端技術を活用した新製品・新サービスの創出件数（経年累計） 46件（目標値 45）※達成率 103% ・産学官連携による新製品等開発件数（経年累計） 110件（目標値 106）※達成率 110% ・意欲ある企業が県施策を活用して売上高伸び率を県内上位中小企業以上に伸ばした割合 70%（目標値 50）※達成率 140%</p> <p>☆1億円以上の資金調達をしたベンチャー企業数が2018年度からの4年間で延べ17社となり、目標値10社の1.7倍を達成</p> <p>【主要指標】 ・1億円以上の資金調達をしたベンチャー企業数（経年累計） 17社（目標値 10）※達成率 217%</p> <p>☆事業支援体制の強化や企業評価支援・マッチング支援に取り組み、M&Aを活用した事業承継を推進</p> <p>【主要指標】 ・県の支援による県内中小企業のM&Aマッチング件数（経年累計） 18件（目標値 18）※達成率 100%</p> <p>【新計画における位置づけ】 政策2 新産業育成と中小企業等の成長 新産業・新事業分野の創出や産業集積づくり、活力ある中小企業等の育成などに取り組むため、政策「新産業育成と中小企業等の成長」として推進</p>
3 強い農林水産業	 順調である	<p>☆規模拡大に取り組む林業経営体の民有林集約化面積を拡大（2017：2,325ha→2021：13,498ha）</p> <p>【主要指標】 ・民有林における売上高4億円以上の経営体数 2経営体（目標値 2）※達成率 100%</p> <p>☆海外における販売促進活動や販路開拓の取組により農産物輸出額は増加（2017：3.2億円→2021：9.8億円）、国内の市場外取引は904件の商談成約を支援</p> <p>【主要指標】 ・県の支援により成約した農産物の市場外取引商談件数 904件（目標値 860）※達成率 106%</p> <p>☆侵入防止柵の整備、有害鳥獣捕獲の強化、対策に係る人材の育成等により、目標を達成（2016：580百万円→2020：450百万円）</p> <p>【主要指標】 ・野生鳥獣による農作物被害金額 450百万円（目標値 450以下）※達成率 100%</p> <p>【新計画における位置づけ】 政策3 強い農林水産業 儲かる農業の実現に向け、経営者マインドを備えた人材の育成・確保、トップブランドの礎となる生産基盤強化、ブランド力強化や国内外の販路開拓などに取り組むため、引き続き政策「強い農林水産業」として推進</p>



I「新しい豊かさ」へのチャレンジ（2 / 2）

政策名	進捗評価	総括評価
<p>4 多様な働き方</p>	 <p>順調である</p>	<p>☆市町村や経済団体、労働団体と連携して、企業における働き方改革の促進に取り組んだ結果、県内中小企業の年次有給休暇取得率が向上（2018：全国 14 位 →2021：全国 7 位）</p> <p>【主要指標】 ・県内中小企業における年次有給休暇取得率 60.58% (2020) （目標値 60.5） ※達成率 101%</p> <p>☆政策方針決定過程の女性の参画促進を進め、法令設置審議会等委員の女性割合が増加</p> <p>【主要指標】 ・政策方針決定過程に参画する女性の割合（法令設置審議会等委員女性割合） 38.9% （目標値 35.4） ※達成率 174%</p> <p>☆コロナ禍による地方移住への関心の高まりを捉え、オンラインを活用した移住相談・セミナーや、市町村によるお試し居住・移住体験ツアーの実施などにより関係人口の増を実現</p> <p>【主要指標】 ・地域や地域の人々と多様に関わる「関係人口」数（経年累計） 27,109 人 （目標値 26,770） ※達成率 102%</p> <p>【新計画における位置づけ】 政策 15 自分らしく輝ける社会 / 政策 18 若者を惹きつけるまちづくり</p> <p>女性活躍の推進、ワーク・ライフ・バランスの実現など、多様な生き方や働き方ができるダイバーシティ社会づくりに取り組むため、政策「自分らしく輝ける社会」として推進するとともに、UIJ ターンや移住など多様な就労環境の提供による新しい人の流れをつくる取組を、政策「若者を惹きつけるまちづくり」として推進</p>
<p>5 かけがえのない自然環境の保全・再生</p>	 <p>成果をあげつつある</p>	<p>☆県民運動「いばらきエコスタイル」の普及啓発など、県民総ぐるみによる地球温暖化対策の推進により、本県の二酸化炭素排出量は着実に減少</p> <p>【主要指標】 ・本県の二酸化炭素排出量の削減（2019） 家庭：▲ 18.8% 業務：▲ 17.2% （目標値）家庭：▲ 13.8 業務：▲ 14.1 運輸：▲ 5.8% 産業：▲ 7.9% 運輸：▲ 9.9 産業：▲ 3.2 ※達成率 142%</p> <p>☆フードロス削減のため連絡会議を 2019 年 4 月に設置し、行政と食品関連業界間等で情報交換を行うとともに、2021 年 7 月に民間事業者との連携による「いばらきフードロス削減プロジェクト」を立ち上げ</p> <p>★豊かな恵みをもたらす湖沼を次世代に引き継いでいくため、水質浄化対策を更に進めていく必要がある</p> <p>【主要指標】 ・霞ヶ浦における COD 濃度（平均値） 7.7mg/L （目標値 7.0） ・霞ヶ浦流域内における浄化槽補助件数 1,446 件/年 （目標値 1,531） ※モデル地区での高度処理型浄化槽設置費用等の補助拡充の働きかけ等により、件数増（2020：1,339→2021：1,446）</p> <p>【新計画における位置づけ】 政策 5 自然環境の保全・再生</p> <p>豊かな自然環境と共生し、サステナブルな社会づくりに向けて、脱炭素社会や循環型社会の実現、霞ヶ浦など湖沼の水質浄化対策などに取り組むため、政策「自然環境の保全・再生」として推進</p>




Ⅱ「新しい安心安全」へのチャレンジ（1/2）

政策名	進捗評価	総括評価
<p>6 県民の命を守る 地域医療・福祉</p>	 <p>成果をあげ つつある</p>	<p>☆「最優先で医師確保に取り組む医療機関・診療科」を選定し、第1次目標では必要医師数14人に対し13.1人を確保（2020）。第2次目標7.5人については、4.2人を確保</p> <p>【主要指標】・最優先で医師確保に取り組む医療機関・診療科の必要医師数 4.2人（目標値3）※達成率140%</p> <p>☆特定看護師数について、研修受講に係る支援等を通して、5.3倍の特定看護師を養成（2017：35人→2021：185人）</p> <p>【主要指標】・特定看護師数 185人（目標値140）※達成率143%</p> <p>★こころの健康づくり等を推進するため、引き続き相談体制の充実や支援機関相互の連携体制の強化等を図ることが求められる</p> <p>【主要指標】・自殺者数（人口10万人あたり） 17.4人（2020）（目標値16.2以下）</p> <p>※こころのホットラインの相談体制の強化により、相談実績は倍増（2019：3,498件→2021：7,695件）</p> <p>【新計画における位置づけ】 政策6 県民の命を守る地域保健・医療・福祉</p> <p>医療・福祉人材の確保、こころの健康づくり等の対策、新興感染症などの健康危機への対応などに取り組むため、政策「県民の命を守る地域保健・医療・福祉」として推進</p>
<p>7 健康長寿日本一</p>	 <p>順調である</p>	<p>☆在宅医療の参入促進のための医療提供施設等グループ化事業に取り組み、訪問診療を実施している医療機関が増加</p> <p>【主要指標】・訪問診療を実施している診療所・病院数 426箇所（目標値414）※達成率122%</p> <p>☆市町村が中心となり「認知症サポーター養成講座」を開催し、認知症サポーターを経年累計で300,513人養成</p> <p>【主要指標】・認知症サポーター養成人数（経年累計） 300,513人（目標値288,000）※達成率114%</p> <p>☆減塩の日「いばらき美味しお Day」の制定や、減塩メニューを提供する飲食店等を「いばらき美味しおスタイル指定店」として（303店舗、2022年3月末現在）指定するなど、県民の減塩・生活習慣病予防意識を啓発</p> <p>【新計画における位置づけ】 政策7 健康長寿日本一</p> <p>生活習慣病予防、認知症対策、更なる総合的ながん対策などに取り組むため、引き続き政策「健康長寿日本一」として推進</p>
<p>8 障害のある人も暮らしやすい社会</p>	 <p>成果をあげ つつある</p>	<p>☆特別支援教育巡回相談や大学教授等の専門家派遣により、障害児に対する個別の教育（保育）支援計画の作成と活用についての理解促進を図ったことで、作成率が向上</p> <p>【主要指標】・障害児に対する個別の教育支援計画等の作成率（幼児教育・保育施設） 69.4%（目標値68.5）※達成率117%</p> <p>☆障害者がスポーツや文化芸術活動等に参加できるよう、障害者スポーツ教室や絵画等の作品展示を行うナイスハートふれあいフェスティバルを開催</p> <p>★障害者が地域社会において自立して暮らせるようにするため、障害福祉サービスの充実、就労機会の拡大や工賃の向上を図ることが求められる</p> <p>【主要指標】・就労継続支援B型事業所における月額平均工賃 15,201円（目標値15,480）</p> <p>・民間企業における障害者雇用率 2.17%（目標値2.30）</p> <p>※県共同受発注センターにおける農福連携に関する受注件数及び金額が大幅に増加（2017：10件 3,926千円→2021：39件 24,340千円）</p> <p>※県内企業への雇用支援など企業への働きかけを継続的に行い、障害者雇用数は着実に増加（2018.6：5,886人→2021.6：6,302人）</p> <p>【新計画における位置づけ】 政策8 障害のある人も暮らしやすい社会</p> <p>障害者の自立、社会参加の促進、就労機会の拡大などに取り組むため、引き続き政策「障害のある人も暮らしやすい社会」として推進</p>



Ⅱ「新しい安心安全」へのチャレンジ（2 / 2）

政策名	進捗評価	総括評価
<p>9 安心して暮らせる社会</p>	 <p>成果をあげつつある</p>	<p>☆交通事故死者は目標 120 人以下（2021）に対し、1957 年以降で最少の 80 人（2021）</p> <p>【主要指標】 ・交通事故死者数 80 人（目標値 120 以下）※達成率 274%</p> <p>☆食の安全対策室ホームページや SNS 等を活用した正確な情報発信を行ったことなどにより、食に対する不安を感じない県民の割合が 18.7 ポイント上昇（2017 年度比）</p> <p>【主要指標】 ・食に対する不安を感じない県民の割合 58.6%（目標値 50 以上）※達成率 185%</p> <p>★少子高齢化や新型コロナウイルス感染症による社会情勢の変化に対し、「誰一人取り残さない」社会の実現に向けてコミュニティカの向上が求められる</p> <p>【主要指標】 ・コミュニティ交通の利用者数 263 万人（目標値 323）</p> <p>※市町村に対する立ち上げ支援などによりコミュニティ交通の導入が進み、コロナ禍以前の 2018 年度は期待値を超える 321 万人が利用</p> <p>・NPO 法人認証件数（経年累計） 876 件（目標値：983）</p> <p>※設立手続きが簡易な一般社団法人制度の創設等により NPO 法人設立数が伸び悩むも、セミナー・個別相談会等を実施し新規団体の設立を促進</p> <p>【新計画における位置づけ】 政策 9 安心して暮らせる社会</p> <p>地域の日常生活の維持確保とコミュニティカの向上、県民の安全・安心な暮らしの確保などに取り組むため、引き続き政策「安心して暮らせる社会」として推進</p>
<p>10 災害に強い県土</p>	 <p>順調である</p>	<p>☆国の補助制度等を活用するとともに、近年、浸水被害が生じた河川や土砂崩落が発生した箇所など優先度の高い箇所を重点的に整備するなどし、目標を達成</p> <p>【主要指標】 ・河川改修率 58.2%（目標値 58.2）※達成率 100%</p> <p>・土砂災害防止施設の整備率 24.7%（目標値 24.5）※達成率 150%</p> <p>☆消防庁と連携した説明会の実施や、災害を教訓とした「代替庁舎の特定」や「非常用発電の必要台数」など業務継続計画の充実についての周知などを行い、市町村の計画策定や内容の充実を支援</p> <p>【主要指標】 ・市町村の BCP 策定率 100%（目標値 100）※達成率 100%</p> <p>☆個別施設ごとの具体的なメンテナンス対策等を定める「個別施設ごとの長寿命化計画（個別施設）」について、2020 年度までに全 26 施設類型中全 26 施設で個別の施設計画の策定を完了</p> <p>【主要指標】 ・公共施設等の個別施設計画（長寿命化計画）策定割合 100%（目標値 100）※達成率 100%</p> <p>【新計画における位置づけ】 政策 10 災害・危機に強い県づくり</p> <p>災害・危機に備えた県土整備や危機管理体制の充実強化、原子力安全対策の徹底などに取り組むため、政策「災害・危機に強い県づくり」として推進</p>




Ⅲ「新しい人財育成」へのチャレンジ（1 / 2）

政策名	進捗状況	総括評価
<p>11 次世代を担う「人財」</p>	 順調である	<p>☆自ら課題を発見し解決する能力（アントレプレナーシップ）の育成のため、県立学校を中心に学校訪問、若手起業家による講話、企画書作成のワークショップなどを行った結果、応募件数が増加</p> <p>【主要指標】 ・IBARAKI ドリーム・パス事業への応募企画数 190件（目標値130）※達成率331%</p> <p>☆トップアスリート育成システム構築、ジュニアアスリート発掘・育成、各競技団体による選手発掘・育成・強化等の実践により、県内選手の競技レベルの向上を実現</p> <p>【主要指標】 ・全国高等学校総合体育大会等での優勝数 8種目（目標値6）※達成率200%</p> <p>☆学校教育指導方針への位置付けや、課題解決に関わる他県の好事例の紹介などに新たに取り組み、目標を大きく上回った</p> <p>【主要指標】 ・地域や社会をよりよくするための課題解決型学習に取り組んだ生徒の割合 88%（目標値50）※達成率185%</p> <p>【新計画における位置づけ】 政策11 次世代を担う「人財」</p> <p>「知・徳・体」バランスのとれた教育の推進、グローバル社会で活躍する能力の育成、若者の地域活動への参画促進などに取り組むため、引き続き政策「次世代を担う「人財」」として推進</p>
<p>12 魅力ある教育環境</p>	 順調である	<p>☆情報モラルの講習会等の実施などによる家庭におけるルールづくりの定着化や、小中高特別支援学校に対する講習会着実に実施した結果、目標を達成</p> <p>【主要指標】 ・通信機器等の利用に関する家族との話し合い実施率 90.7%（目標値90）※達成率102%</p> <p>・学校におけるメディアに関する講習会の実施率 100%（目標値100）※達成率100%</p> <p>☆大学との意見交換を通じ、大学の特色化の必要性について働きかけを行った結果、アントレプレナーシップ教育などの新たなカリキュラムの導入検討につながった</p> <p>【主要指標】 ・特色ある教育カリキュラムの導入について検討する大学数 3校（目標値3）※達成率100%</p> <p>☆2020～2022年度の3年間で新たに10校の中高一貫教育校を順次設置し「学びの質」を向上させるとともに、2023年度に新たに県内初の科学技術科や全国初（公立校）のIT科を設置するなどの県立高等学校改革プラン実施プランI期を公表（2019、2020）</p> <p>【新計画における位置づけ】 政策12 魅力ある教育環境</p> <p>時代の変化やニーズに対応した魅力ある学校づくり、支援を必要とする子どもたちの自立支援などに取り組むため、引き続き政策「魅力ある教育環境」として推進</p>
<p>13 日本一、子どもを産み育てやすい県</p>	 順調である	<p>☆妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を実施する、子育て世代包括支援センターの全市町村への設置やいばらき妊娠・子育てほっとラインの開設などにより、目標を達成</p> <p>【主要指標】 ・妊娠・出産について満足している者の割合 86.7%（目標値84）※達成率242%</p> <p>☆県内全市の担当課を個別訪問し、事業実施への働きかけなどを行った結果、母子・父子自立支援プログラム策定件数が目標96件の1.6倍を達成</p> <p>【主要指標】 ・母子・父子自立支援プログラム策定件数 149件（目標値96）※達成率182%</p> <p>☆いばらき出会いサポートセンターを中心とした結婚支援事業を展開した結果、成婚者数が増加（2017：1,930組→2021：2,487組）</p> <p>【主要指標】 ・いばらき出会いサポートセンター利用者等成婚者数（経年累計） 2,487組（目標値2450）※達成率107%</p> <p>【新計画における位置づけ】 政策13 日本一、子どもを産み育てやすい県</p> <p>年間を通じた待機児童の解消、幼児教育・保育サービスの充実、児童虐待対策の推進などに取り組むため、引き続き政策「日本一、子どもを産み育てやすい県」として推進</p>



Ⅲ「新しい人財育成」へのチャレンジ（2 / 2）

政策名	進捗状況	総括評価
<p>14 学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城</p>	 <p>成果をあげつつある</p>	<p>☆国の補助制度等を活用するとともに、都市公園単体事業のほか、土地区画整理事業や再開発事業による新設整備などにより、目標を達成 【主要指標】 ・都市計画区域人口 1 人あたり都市公園面積 10.01 m²/人（目標値 10）※達成率 102%</p> <p>☆オリンピック等の開催によるスポーツへの関心の高まりや、指導員講習会によるスポーツリーダー等の養成などにより、スポーツ実施率は 21.3 ポイント上昇（2017：34.7%→2021：56%）</p> <p>★生涯にわたって学習することができ、学習成果を生かすことのできる環境整備とともに、生活を豊かにする文化活動の機会の充実が求められる 【主要指標】 ・県内公立図書館の入館者数 5,394 千人（目標値 8,612） ※コロナ対策を講じ、図書館サービスを提供したことや、県立図書館に新たな交流の場としてカフェを整備したことなどにより、入館者数は 13.4%上昇（2020：4,758 千人→2021：5,394 千人） ・県が提供する文化の鑑賞等の機会への参加者数 570 千人（目標値 1,067） ※県立美術館・博物館における幅広い層の集客を促すための多様な企画展の開催や、広報・普及活動に WEB や SNS、YouTube を活用</p> <p>【新計画における位置づけ】 政策 14 学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城 生涯学習の推進、文化・芸術・スポーツの振興などに取り組むため、引き続き政策「学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城」として推進</p>
<p>15 人権を尊重し、多様性を認め合う社会</p>	 <p>成果をあげつつある</p>	<p>☆留学生への PR や多文化理解パートナー育成講座等の実施により、多文化共生に対する理解促進に努めた結果、現状値（2017 年度：520 人）の 1.9 倍を達成 【主要指標】 ・多文化共生サポーターバンクへの新規登録者数（経年累計） 983 人（目標値 800）※達成率 165%</p> <p>☆スクールカウンセラー等専門家の派遣や SNS 相談窓口の周知とともに、いじめの未然防止や心のケアに関する取組を強化したことにより、目標を上回る改善結果を達成 【主要指標】 ・いじめを受けた児童生徒が、誰にも相談していない状況にある件数 531 件（目標値 689）※達成率 159%</p> <p>★多様性を認め合い、一人ひとりの人権が尊重される社会づくりとともに、県民の人権意識を啓発することが求められる 【主要指標】 ・人権は大切であると感じている県民の割合 77.7%（目標値 95.0） ※いばキラ TV や県公式 SNS、地元プロスポーツチーム選手自身の SNS 等における各種動画の配信を強化したことにより、29 歳以下の若年層の人権意識は向上（インターネット調査：「人権は大切である」の間に「そう思う」と回答した割合 2020：72%→2021：77.3%）</p> <p>【新計画における位置づけ】 15 自分らしく輝ける社会 多文化共生社会の推進、性別や国籍等にとらわれない多様な生き方、働き方を選択できる環境整備などに取り組むため、政策「自分らしく輝ける社会」として推進</p>

IV「新しい夢・希望」へのチャレンジ（1 / 2）

政策名	進捗状況	総括評価
<p>16 魅力度 No.1 プロジェクト</p>	 <p>成果をあげつつある</p>	<p>☆本県情報のメディアへの掲載による広告換算額が増加（2017：71億円→2021：158億円）</p> <p>【主要指標】 ・本県情報のメディアへの掲載による広告換算額 158億円（目標値140）※達成率126%</p> <p>☆首都圏メディア等に向けた積極的なパブリシティ活動やアンテナショップにおける県産品のPR強化、自治体初となる公認Vtuber茨ひよりを起用した、いばキラTVでのコンテンツ配信などを実施</p> <p>★若年層や他県からの移住者に向けた情報発信の充実等に努め、県民の郷土愛の醸成に取り組む必要がある</p> <p>【主要指標】 ・茨城県に「愛着を持つ」県民の割合 72.3%（目標値90）</p> <p>※県広報紙「ひばり」をはじめ、SNSやいばキラTV等のインターネットにより、県政情報や本県の魅力ある情報（観光、アウトドア、県産品等）を発信した結果、ツイッターフォロワー数が2017年度から約1.8倍増（2022.3現在175千人）</p> <p>【新計画における位置づけ】 政策16 魅力発信No.1プロジェクト</p> <p>国内外への戦略的な「茨城の魅力」発信や、本県魅力の認知向上、郷土愛の醸成などに取り組むため、政策「魅力発信No.1プロジェクト」として推進</p>
<p>17 世界に飛躍する茨城へ</p>	 <p>順調である</p>	<p>☆海外における販売促進活動やビジネスマッチング等の販路開拓の取組により、農林水産物及び県支援企業の輸出額（2017：90.8億円→2021：185.1億円）や、県の支援により成約した輸出商談件数が増加（2017：38件→2021：353件）</p> <p>【主要指標】 ・県の支援により成約した輸出商談件数 353件/年（目標値100）※達成率508%</p> <p>☆1億円以上の資金調達をしたベンチャー企業数が2018年度からの4年間で延べ17社となり、目標値10社の1.7倍を達成</p> <p>【主要指標】 ・1億円以上の資金調達をしたベンチャー企業数（経年累計）（再掲） 17社（目標値10）※達成率217%</p> <p>☆地域の起業支援の取組を国が後押しするグローバル拠点都市（全国で4箇所）に、県やつくば市が参加するコンソーシアムが選定（2020）</p> <p>【新計画における位置づけ】 政策17 世界に飛躍する茨城へ</p> <p>更なる海外販路開拓、ベンチャー企業の創出・育成などに取り組むため、政策「世界に飛躍する茨城へ」として推進</p>
<p>18 デジタル茨城～新観光創生～</p>	 <p>取組の強化が求められる</p>	<p>★新型コロナウイルス感染症による外出自粛等の影響により、2020年以降は各指標とも目標を大きく下回った</p> <p>今後、観光消費額の増加を促進する取組やインバウンド需要・航空需要の早期回復のための取組、観光消費を拡大させる地域づくりを進める必要がある</p> <p>【主要指標】 ・海外からの観光ツアー催行数 0ツアー（目標値5,000）</p> <p>※コロナ禍においても、現地旅行会社に対し海外誘客拠点やオンラインを活用した商談、県内観光地等のライブ配信等、積極的にアプローチを実施</p> <p>・茨城空港の旅客数 280千人（目標値944）</p> <p>※航空会社と連携したキャンペーンや、利用促進を図るアプリの導入等により、夏ダイヤから神戸便の3便化を実現（2021）</p> <p>・観光地点等入込客数（延べ人数） 3,972万人（目標値8,450）</p> <p>※新しい生活様式に対応し、キャンプやサイクリングといった本県の強みであるアウトドアコンテンツを打ち出した誘客を展開</p> <p>・宿泊観光入込客数（実人数） 367万人（目標値876）</p> <p>※「いば旅あんしん割」の実施により、宿泊需要を喚起（103,339人泊（2021））</p> <p>☆県有施設「茨城県フラワーパーク」を、民間事業者の発想や経営ノウハウを取り入れた魅力的な観光施設としてリニューアルオープン（2021年4月）</p> <p>☆宿泊観光を促進するため、地域の特色を活かしたホテルを誘致（2020年3月オープン）</p> <p>【新計画における位置づけ】 政策4 「デジタル茨城～新観光創生～」</p> <p>観光消費額の増加を「豊かさ」と関連付け、ポストコロナを見据えた稼げる観光地域の創出やインバウンド需要の回復などに取り組むため、政策「デジタル茨城～新観光創生～」として推進</p>

IV「新しい夢・希望」へのチャレンジ（2 / 2）

政策名	進捗状況	総括評価
<p>19 茨城国体・障害者スポーツ大会、東京オリンピック・パラリンピックの成功</p>	 <p>成果をあげつつある</p>	<p>☆全国トップレベルの指導者を招へいしての強化練習会や競技力強化などの取組により、第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」において、天皇杯・皇后杯を獲得 【主要指標】 ・第74回国民体育大会における男女総合成績（天皇杯順位） 1位 （目標値1）※達成率100%</p> <p>☆東京オリンピック・パラリンピックにおいては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により期待されていた交流ができなかったものの、オンライン交流や感染症対策を講じた選手との少人数の交流などにより、関係を継続する意向の市町村を支援したことで、目標を達成 【主要指標】 ・ホストタウン交流事業に取り組む市町村数 18市町村 （目標値15）※達成率150%</p> <p>★東京オリンピック・パラリンピックの大会延期・感染症対策などを踏まえた運営計画の見直し等により、従事者確保に努めたものの、原則無観客となったことから、学校連携試合3日間の288人のみの従事となった 【主要指標】 ・都市ボランティア延べ従事（予定）者数（オリパラ） 288人 （目標値2,020） ※ボランティア登録者のモチベーション維持や情報交換のため、他県の都市ボランティアとの交流の機会を提供するなど大会に向けた準備を推進</p> <p>【新計画における位置づけ】 政策14 学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城 茨城国体後のレガシーとして、これまで高めてきたジュニア層の競技力向上や、生涯スポーツの振興などに取り組むため、政策「学び・文化・スポーツ・遊びを楽しむ茨城」として推進</p>
<p>20 活力を生むインフラと住み続けたいまち</p>	 <p>順調である</p>	<p>☆国の補助事業等を活用したバイパス整備や現道拡幅を推進するなどにより、未改良区間の整備を強力に推進するとともに、防災機能強化や交通安全の向上が図られた 【主要指標】 ・県管理道路の改良率 77.3% （目標値76.3）※達成率267%</p> <p>☆立地適正化計画を策定する市町村に対して、策定に向けた啓発・助言等の支援を行った結果、目標を達成 【主要指標】 ・立地適正化計画（コンパクトシティ実現に向けた計画）策定市町村数（経年累計） 29市町村 （目標値24）※達成率123%</p> <p>☆国の補助制度等を活用するとともに、都市公園単体事業のほか、土地区画整理事業や再開発事業による新設整備などにより、目標を達成 【主要指標】 ・都市計画区域人口1人あたり都市公園面積（再掲） 10.01㎡/人 （目標値10）※達成率102%</p> <p>【新計画における位置づけ】 政策20 活力を生むインフラと住み続けたいまち 陸・海・空の広域交通ネットワークの形成・充実、安心して快適に暮らせる人にやさしいまちづくりなどに取り組むため、引き続き政策「活力を生むインフラと住み続けたいまち」として推進</p>